

2025年9月6日(土)
AP市ヶ谷にて
開催いたしました。

第24回ピノキオ保育シンポジウム

正解探しはもうおしまい

～あなたらしい子育てで親子の自信を～

第24回ピノキオ保育シンポジウムのテーマは、

「正解探しはもうおしまい～あなたらしい子育てで親子の自信を～」です。

第一部の基調講演では、第22回シンポジウムにもご登壇いただいた
さわだスポーツクラブの池谷 仁志先生をお迎えしました。

子どもの「こころ」と「からだ」の教育に携わってこられたご経験から、
子育ての正解にとらわれない、自分らしい子育てのあり方について
さまざまなお話しをしていただきました。

第二部では、親子で一緒に楽しめるワークショップを開催。

ピノキオ幼児舎でおこなわれている遊びや体験を通して、
親子のふれあいやつながりを感じる楽しい時間となりました。



基調講演



ワーク
ショップ

基調講演講師紹介



さわだスポーツクラブ
池谷 仁志先生

・指導研究開発部アドバイザー ・資格認定委員長
・日本幼児体育学会理事 ・認定専門指導員

さわだ スポーツクラブ 書籍紹介

苦手な子も楽しめる
運動あそびがいっぱい！



正解探しはもうおしまい

～あなたらしい子育てで親子の自信を～

そもそも子育ての正解って??

●子育ての正解は一つではない

「子育ての正解は?」と聞くと、答えは一つだと思いがちですが、そうではありません。結果や成果を見るのか、経過を重視するのかなど、親御さんや指導者の考え方によって、何通りもの「正解」があります。

「これが正しい子育て」と決めつけず、自分らしい子育てとは何かを、一緒に考えていければと思います。



●小学校までに〇〇ができないと困る?

親御さんから「保育園卒業までに逆上がりができるようにしてほしい」と言われることがあります。「小学校では逆上がりができないと困る」と思っているのでしょう。

しかし、小学校の授業で逆上がりが出てくるのは3年生です。その間に、子どもたちは生活や環境、体格などが大きく変化します。保育園でできたことが、3年生になったらできなくなるということもよくあることです。まったく心配はいりません。

●実は子ども目線では楽しくない遊びもある

遊びの中で「〇〇ちゃんの勝ち!」「〇〇ちゃんチャンピオン!」と結果をつけて終わることがあります。けれども、その子どもが1位になって本当にうれしいかというと、3歳くらいではまだ心の発達が追いついていないこともあります。

たとえば「じゃんけん列車」では、負けた子はずっとじゃんけんができません。「椅子取りゲーム」でも、最初に座れなかった

子どもは応援するだけです。

このように、子ども目線で見ると、実はあまり楽しくない遊びもたくさんあるのです。



遊びの発達段階

●発達段階に合わせた遊び

「3歳の子どもが他の子とうまく関われない」という相談を受けることがあります。2歳から3歳は「並行遊び」の段階と言われ、同じ空間で一緒に遊んでいるように見えても、実際は他の子どもと関わっていません。自分の世界の中で遊んでいるだけです。ですから、他の子とうまく関われなくても心配はいりません。

4歳、5歳、小学生と成長していく段階で、お友だちと協力しないとできないような遊びを取り入れ、少しずつコミュニケーション力を育てていけばいいのです。

一人あそび(0ヶ月～2歳)

- それぞれバラバラに好きな遊びを一人で楽しむ
- 他の子どもが遊んでいるのを見ながら、自分はその遊びに加わらない



平行あそび(2～3歳)

- 同じ場所で同じ遊びを楽しむが子ども同士の関わりがない



連合あそび(3～4歳)

- 子ども同士のやりとりがあるがイメージに相違がある



協同あそび(4歳～)

- 子ども同士でひとつの遊びを共有してルールを守りながら遊ぶ



親バカ階段をゆっくり登りましょう

●親バカになりましょう

我が子が初めて寝返りを打ったり歩いたりした時、「うちの子天才!」と思いませんか?小さいうちは我が子しか目に入らなかったのに、いつの間にか「何点取った?」「何位だった?」と、他の子と比べるようになってしまっていることがあります。すると子どもは困惑してしまいます。

失敗を責めたり、人と比較したりするのではなく、スキンシップをとりながら「それでいいんだよ」と声をかけてあげましょう。そうすると、子どもは「これでいいんだ」と思えるようになり、自己肯定感が高まると言われています。なるべく長い時間子どもを見てあげる「親バカ」でいることは、とても大切なことなのです。



●その先を認める意識

教育や子育ての現場では「褒めて育てよう」とよく言われますが、褒めるだけでなく、「なるほどね、その手があったか」と「その先を認める意識」も大切です。

たとえば、話をしている最中によそ見をした子どもに、つい「こっち見て」と言ってしまうがちです。でも「何が見えたの?」と聞いてみましょう。すると「向こうで〇〇してたんだよ」と教えてくれます。「そうか、みんなで見てみよう。でも次はこっちを見てね」と言うと、すんなりこちらを見てくれるようになります。

●予習と復習

子どもは首が座ったら寝返りをし、ずりばい、はいはい、高ばい...と成長していきます。でも、その順番を飛び越えたり、ある時期が極端に短いこともあります。

保育園では「ワニさんになってハイハイしてみよう」と言って、お腹をつけて動く「ずりばい」をする「模倣遊び」を取り入れています。一度できたことをもう一度復習してみる大切な運動メニューです。



スマホやタブレット

●スマホやタブレットは良し悪し

スマホやタブレットは、子どもにとって楽しいものです。目と手をうまく使うことで、調整力がアップするという良い面もあります。一方で、距離感がつかめず、車が近づいてきてもどこまでが危ないかを感じにくくなることもあります。

また、親にとっては情報を簡単に得られる便利な道具ですが、その分、情報過多で不安や迷いを感じることもあります。

子ども目線



- 😊 楽しい・調整力アップ
- 😞 距離感がつかめない

大人目線



- 😊 情報収集に便利
- 😞 情報過多で迷う

幼児期のジェンダーガイドブック

●子どもへの声がけにも注意をしましょう。

今は、男女を区別して考える時代ではありません。「男の子は泣いちゃダメ」「プリンセスはそんな話し方しないよ」など、つい言ってしまうことがあります。赤と青の色があったら女の子は赤、男の子は青。ライオンとウサギのシールがあったら女の子はウサギを選ぶ。本当にそうでしょうか? 赤が好きな男の子も、ライオンを選ぶ女の子もたくさんいます。子どもへの声がけも、少し立ち止まって考えてみてください。



社長からのメッセージ

今回の基調講演でのいろいろな遊びや体験のお話から、自分らしい子育てのヒントが見つければいいなと思いました。わくわくしながら、子育てをしていきましょう。

自分の子育てを四字熟語にしてもらいました!

保護者の方から
子育ての四字熟語を
ご応募いただきました。
コメントともに
その一部を紹介します!

和気藹々

息子のおかげで家族がより温かく和やかに過ごすことができている。

抱腹絶倒

笑わせてくるし、笑わせたい毎日を過ごしている。

日進月歩

日々成長を感じ、新たな発見があるため。親としても進化していかなければ!

親子の成長

雲外蒼天

初めての育児で悩みや不安は尽きません。ただ、そうした「雲」を抜けた先には、子どもの成長や親としての喜びという「蒼天」が広がっています。

子育ての様子

日々精進

子どもに気付かされ自分がしっかりしなきゃと気付くから。

一生懸命

来る日も来る日もいっしょうけんめいを子どもといっしょに。いつも子どもから学んでいます。

十人十色

子どもも大人も感じ方が違うので、それぞれに合った育て方をしたい。いろんな人がいるということを認められる、協調できる子に育ってほしい。

子どもの見方

千差万別

子どもと過ごす日々は毎日様々に変化していくから。

試行錯誤

昨日OKなことも今日はNGだったり、毎日手を変え品を変えやっている。

のびやか保育を体験しよう

ピノキオ幼児舎で行っている「のびやか保育」を体験できる、ワークショップを開催しました。7つに分かれたブースで、親子でさまざまな遊びや取り組みを体験していただきました。

造形

ビニールで遊ぼう

「造形」は、まさに決められた「正解」がなく、作り方や楽しみ方を自分で自由に決めることができる活動です。アプローチで大切なポイントは、シンプルで分かりやすい環境設定と、なるべく大人が「ああしなさい」「こうしなさい」と言わないことです。そうすると、子どもたち自身で理解し、考え決めることを楽しめます。今回のブースでも、子どもたちが発明した、驚きの作品や遊び方を参加者と共に目の当たりにすることができました。



食育

親子で美味しい収穫体験

会議室が「緑の桃の森」に变身！親子で桃狩り体験をしていただきました。子どもでも取れる高さに実った大きな桃。たくさんの桃の中からお気に入りを選んで、親子でもいだ桃のお味はいかがだったでしょうか。白桃にもたくさんの種類があるというお話も伺えました。この日の桃は「さくら」という種類でした。旬（走り、盛り、名残）を大切に作る日本食。名残の桃を大人も子どもも「大きいね」「いいにおいだね」「おいしそう」の声が飛び交っていました。



Kubotaのうけん

久保田式とは、「乳幼児の脳の発達を促す教育法」です。人間の脳の成長が最も著しい乳幼児期に、適切な刺激を与えることで、知的・運動的・情緒的発達をバランスよく育むことを目的としています。具体的には、視覚・聴覚・触覚などの感覚刺激や、手先を使った巧緻動作、言語・音楽・数の基礎概念などを組み合わせたプログラムで構成されています。遊びを通して楽しみながら脳の神経回路を活性化させ、「自ら考え、行動する力」を育む点が特徴です。「脳育」の中で、パズルや運筆などを親子で楽しみました。



育脳

英語

Play in English

「Play in English」ブースでは、子どもたちと保護者の皆さまが楽しい遊びを通して英語を体験しました。「動物にエサをあげよう」「羊の毛刈り」「釣り」「サメにエサをあげよう」といったゲームが紹介され、笑いと好奇心にあふれた環境となりました。それぞれの活動は、「遊びながら英語に触れること」を目的としており、子どもたちが聞いて、話す、行動するなど楽しみながら自信をつけられるよう工夫されています。自然で楽しい学びの時間となりました。



安全

子どもの視野体験

安全のブースでは、参加者の皆さまに『チャイルドビジョン』を体験していただきました。しゃがんだり周囲を見渡したりすることで、大人とは異なる視野の狭さや目の高さを実感し、「こう見えているのか」「だから気づいてくれないのか」と驚く声も上がりました。また、防災の観点から家庭での備えや非常用



トイレについても紹介しました。日常に潜む危険や工夫の必要性に気づき、家庭での安全を考えるきっかけになれば幸いです。

体操

親子で遊ぼう

白い袋に入ったカラーボールを見つけた子どもたちは、嬉しそうにボールを取り出し、転がしたり追いかけたりしながら、周囲の環境やお友だちの動きをヒントに、思い思いに遊びを広げていきます。まさに“遊びの天才”の子どもたちの本領発揮です。やがて箱を見つけて玉入れが始まり、大人が高いところからボールを転がすと、子どもたちは歓声を上げて追いかけ、集めてはまた大人に転がしてもらうことを楽しんでいました。即興的でありながら、自然と笑顔あふれる遊びの空間が生まれていました。





すくわくプログラムで広がる、 子どもたちの探究の世界

子どもたちの「やってみたい!」「知りたい!」という気持ちを育む
「とうきょう すくわくプログラム」。

各園では、それぞれのテーマに沿って子どもたちが自ら考え、
発見を楽しんでいます。

今回は、そんなワクワクあふれる活動の様子をご紹介します。

井萩保育園

「自然」の探究活動!

井萩保育園では5月から「自然」をテーマにした「すくわくプログラム」に取り組んでいます。2歳児では花や葉っぱを使った色水遊びから探究が広がり、夏の時期に色水遊びを行いました。触り心地や見た目・段々と溶けていく様子を観察したり触ったり、お絵描きをしたりと楽しみました。他にもクワガタムシの飼育や、アゲハ蝶の幼虫・サナギの観察、ダンゴムシやアリ、バッタの捕獲と観察なども楽しんでいます!現在は秋になり、虫取り網を持って公園を駆け回っている子どもたちです!



instagramは
こちらから



ひんやり冷たい
お絵描き!

虫はどこに
いるのかな?

井草保育園

かかし「もへじさん」
畑を守ってね!



instagramは
こちらから



収穫した野菜で
八百屋さんごっこ
をしたよ

いぐさ のうえん

「畑で野菜を育ててみよう」をテーマに、区民農園でサツマイモ・ピーマン・オクラ・落花生・サトイモ・スイカを育てました。この夏、2歳児クラスが一番楽しみにしていたのはスイカの収穫。食べるだけでなく、そのあと種を一粒ずつ取り分け、「芽が出るかもしれない」と植えたりしたこと楽しく、素敵な体験になりました。畑を守るカカシを作ったり、野菜の制作をしたり、ごっこ遊びをしたり、みんなで収穫体験を楽しんでいます。

月島園

やさいってなに?

月島園のテーマは「野菜」です。2歳児を中心に4月からスタートし、とうもろこしの皮むきをしたり土に触れて遊んだりしました。また夏は青梗菜・人参・かぼちゃの種やヘタを使って、栽培にも挑戦してみました。どんどん葉が伸びる様子に「どこまでのびるかな?」と少しずつ興味を持つようになってきました。食育出前授業にも参加し、野菜本来の姿を観察したり、触れてみると「なすはやわらかい!」「にんじん固いね」と様々な発見を楽しみ、0・1歳児も夢中でした!色んな野菜に親しめるよう今後も活動をしていきたいと思っています!



instagramは
こちらから



おもしろい!

大きくなりますように...

高円寺南 保育園

すくわく活動 ~虫~

テーマはみんなが好きな「虫」。初めは、卵の状態からアゲハ蝶を育てました。どんどん大きくなって色や形が変わっていき、蝶々になった時はとても嬉しそうなお子どたちでした!その後、散歩先で出会ったダンゴムシを持ち帰り、何を食べるのか予想してみたり、ブロックで迷路を作ってどんな動きをするか見たりしました。白い赤ちゃんも生まれ、4ヶ月経った今もダンゴムシに興味津々です!今後も他の生き物にも触れながら、興味を広げていきたいです。



instagramは
こちらから



ダンゴムシの
迷路を作ったよ!

あ!セミの抜け殻あった!

つつじヶ丘 保育園



セロファンを混ぜたら
どんな色になるかな?

ほうれん草をすって色を出すよ!

知りたい!ワクワク♪

「自然と色」をテーマに4・5歳児がすくわくの活動を行っています。最近では素材や食べ物から色をつくり出す活動を行い、クレヨンやカラーセロファンを使い水を混ぜたらどんな風に出る色かを実験したり、人参やほうれん草をすり鉢ですってみたいと子どもたちから「こんな事をやってみたい」「これをしたらどうなるかな?」の意見を拾いながら活動を行っています。子どもたちの探求心や好奇心にアンテナを張りながら、今後もわくわく出来るような活動を行ってまいります。



instagramは
こちらから

それもいいね

テーマは「なりきりあそび」。アイドルやヒーロー、お店の人やお客さんになって遊ぶなりきりごっこ遊びが大好き!という理由でスタートしました。好きなアイテムを身に付けて変身しながら、冒険ゲームやダンス、出店屋さんなどやりたいことを自ら考え、準備して楽しむ日々です。いま、このときだけの子どもたちの発想とひらめきを大切に、探求心を形にしながらわくわく体験を楽しんでいます。



instagramは
こちらから



今から開店しま〜す!

いつものあそびも
なりきって楽しんでいます。



知れるって楽しいね♪

どんな物に興味があるかな?から話がはまって、テーマが「乗り物」になりました。それからは、興味がある乗り物を取り上げて不思議に思っていること、知りたいことをみんなで共有して調べたり玩具や廃材で形にしたりして活動を楽しみました。実際に働いている人に緊張しながらも自分たちで質問して、答えが返ってくるととても喜んでいました。5歳児の残りの保育園生活でもさらに新しい発見をして探求活動を楽しんでいきたいと思います。



instagramは
こちらから

疑問たくさん!
みんなで
意見交換!



新しいことを
知れるって
ワクワク♪

自分の星座みつけたよ!

映画館だ!

お天気の曇りから始まったすくわく活動ですが、雨雲・雨・夜空・星へと子どもたちのつぶやきから探求範囲が広がってきました。「自分の星座が知りたい」と12星座についての探求が始まり、自分の星座、家族やお友だちの星座を知った後は、ホームシアター(プラネタリウム)で星座探しをしました。現在は「地球以外の星探しがしたい」とスクリーンを使って宇宙についての動画鑑賞を行っています。「映画館だ!」と子どもたちも毎回楽しみにしています。

映画館だ!



気になること沢山!!

本を使って
調べもの!!



畑との初中継!



今年度から東尾久園ではすくわくプログラムで畑に行ける事となり、気になることも沢山!畑との中継が始まると、目を輝かせながら、農家の方のお話を聞き、中継の後は「さつまいもは何で大きくなるの?」「大きくなったさつまいもは、動物に食べられないの?」など気になること沢山!これからピノーフームに行き、収穫をしてるので実際の体験を通して、さらに気になることが出てくるのか?ワクワクが止まらない5歳児のきりん組です。

色っているいる!

5歳児のきりん組の今年のテーマは「色」。色水を使って変化を観察したり、どこにどんな色があるのか保育園や家の中を探してみました。「ここは青だった!」「赤だけど、この赤とは違う」と新たな気づきや発見がたくさん!濃淡や素材、見る人によって感じ方や捉え方が違うことに面白さを感じている子どもたちです。そうして、出来たのが「きりん組の色相環」や「ワークシート」。次は商店街に行って、新たな色を探しに行こうと思っています!どんな気づきや発見が生まれるか保育者も楽しみです。



instagramは
こちらから



実験みたいで
楽しい!



「きりん組の色相環」

色水風船遊び

「色」がテーマのすくわくの活動で、1歳児と2歳児と一緒に色水風船遊びをしました。敷いた模造紙に向かって思い切り風船を投げつけ、割れて色がつくことをとても楽しんでいました。水の入った風船の感触も面白いようで、両手で握って揉んで遊ぶ子もいました。割れた風船から出た色水が混ざると「紫になった」など色の変化にも気づき、いろいろな色を混ぜて楽しむ姿も見られました。身体中に色が付くことも気にせずダイナミックに満喫しました。



instagramは
こちらから

床に敷いた模造紙に
風船を投げて割り楽しむ様子



風船を握り潰すのに成功し
嬉しそうにする様子



すくわくプログラム 稲刈り体験

食べることが大好きな桃井保育園の子どもたちは、すくわくプログラムの活動でお米について取り組んでいます。園でもパケツで稲を育てていますが、5歳児クラスはバスに乗って千葉県のたがやす倶楽部の田んぼに稲刈り体験に行きました。自分で刈り取った稲を紐で縛り、はざがけをしました。田んぼまでの道で「トトロがいるかな?」と話したり、カエルやトンボを追いかけたり、自然を楽しんでいました。



よいしょ♪



いっぱいとれたよ!

どうなの?なんで?は
学びの芽の栄養剤!

廃材遊びが好きな4歳児は「つくる」をテーマにすくわくプログラムを実施。空き箱だけでなく、紙コップやストロー、割りばし、発泡スチロール等様々な素材を使っての制作に興味を持ちました。その中でグミを制作していた子が「本物はどやって作るのかな?」と疑問を抱き、みんなで作ってみることに!ゼラチンが固まる仕組みを知った子どもたちは料理に興味を沸き、ドレッシング作りやケチャップ作りにも挑戦。マヨネーズ作りではうまく固まらず、次回はどうかしらうまくなるかを考えていきます!

instagramは
こちらから自分で調味料を選んで
オリジナルドレッシング作り!

固まるのかドキドキ...

光あそびで
ふしぎ発見!!

光をテーマに、見たり触れたりしながら感じる遊びを楽しみました!懐中電灯の光を追いかけて、影に触れようとして、ステンレスのお盆に映る自分を見つめたり。光を通して「見える」「映る」「変わる」ことへの驚きや喜びが広がり、一人ひとりの感覚や興味の芽生えを感じています。

これなんだろう?と
不思議そうに手を伸ばしています。自分の姿を発見し
「ばあ」と顔を
覗かせていますね!!instagramは
こちらから

なつまつり



大きいお魚つけちゃお!!

instagramは
こちらからやきそば、
おいしい
ですよ〜♡

すくわくのテーマは「ごっこあそび」。夏まつりをスタートとしてごっこ(なりきり)あそびが始まりました。5歳児が開催した「子ども夏まつり」での経験から3歳児クラスでは品物を買うお金を色鉛筆で書いて作ったり、「ワミー」を使ってさかな釣りを真似し始めました。竿はたくさんワミーを繋げて長くし、さかなは下で竿につけるように工夫したりと子どもたちの想像力と発想力には驚きます。5歳児が使っていた「やきそばセット」も借りるとすぐに焼きはじめ、トングやパックに詰める作業もお手のもの★「見ていた」だけでしっかりとどう使うのか?を理解し行動に移せていて「やってみよう」という気持ちが形になりとても得意げでした。

体の中ってどうなってるの?

和田保育園では4・5歳クラスを中心にすくわくプログラムに取り組んでいます。今年は「からだ」をテーマに子どもたちが気になることを探究しています。魚の解体では魚の体について、実際に見て触って調べました。人の体についてはエプロンシアターで、臓器の大きさや名前、役割を覚えしました。魚と人の違いが面白かったようで「これがあってあれがないね!」「これは同じだね!」と学びを深めていました。11月には多摩六都科学館へ遠足に行きます。「バスで遠足わくわくするね!」と今から楽しみにしている子どもたちです♪

instagramは
こちらからお魚って
こうなってるんだね!小腸は
みんなの
何人分?

食育は楽しいね

番町園のすくわくのテーマは「食育」です。幼児クラスは野菜を育てることになり、どんな野菜を育てて、食べてみたいかを話し合いピーマンとオクラになりました。「花が咲いたよ」「オクラが伸びてきた」と日に日に変化する野菜の成長を楽しみにしていました。他にもピーマンはわざと収穫せずに真っ赤になるまで様子を観察したり、ピノファームから野菜がどんな場所でどのようにできるか等中継で見たりしました。これからも子どもたちと食育をテーマに探究していきたいです。

instagramは
こちらから野菜スタンプ
楽しいね!野菜ってどうやって
できるのかな?

みんなでつくる交流会

本番前にクラス
のお友だちと確認

いざ本番!自信をもって発表できました

すくわくプログラムでは「子ども同士の話し合い」をテーマに子ども同士で考え、決める活動を行っています。その実践の場として高齢者との交流会を活用し「どのようなことをするか」をクラスで話し合い、子どもたち自身で決めています。「どうしたら楽しんでもらえるか」意見を出し合い、「もっとこうしたらいいんじゃない?」と子ども同士でアドバイスし合い、本番へ向けて楽しみながら準備を進めています。交流会では緊張しながらもおじいちゃんおばあちゃんに喜んでいただき、子どもたちも嬉しそうな表情をしています。



ピノキオ幼児舎 園だより

季節を感じて、笑顔いっぱい！ 子どもたちのイベント日記

季節ごとの行事や園のイベントを通して、
子どもたちはたくさんの体験を重ねています。
お友だちと力を合わせたり、初めてのことに挑戦したりしながら、
心も体も大きく成長しています。
今回は、笑顔と元気がいっぱいの子どもの様子をご紹介します。

阿佐谷北 保育園



instagramは
こちらから

お店屋さんごっこ

恒例のお店屋さんごっこ。子どもたちとたくさん
話し合い、3歳児クラスは「キャンディー屋さん」、
4歳児クラスは「回転ずし&かき氷屋さん」、5歳児クラスは「ショッピングモール」に
決めました。3歳児クラスでは紙粘土で好きな形をつくり、色付けしました。4歳児
クラスの回転ずしでは、担任の先生たちが一生懸命考えた手動式の回転レーンが
完成！子どもたちは本物みたいな回転レーンに大喜びし、お寿司屋さんになりきって
いました。5歳児クラスは洋服屋さん・映画館・歯医者さん・本屋さん・ゲームコーナー
等が集まったショッピングモール。ポップコーンやチュロスを選び、手作りペーパ
サート劇を観ることができる映画館ではたくさんのお客さんにぎわいました！



映画館の裏側を
こっそりお見せします！

回転レーンは手動で！



吉祥寺 アネックス



instagramは
こちらから



大盛り上がり！
秋祭り！



めざせ！
ストライク！！

大盛況の秋祭り

中秋の名月に合わせて秋祭りを開催しました。2歳児
クラスの子供たちはボーリングやボールすくい等のお
店屋さんになって「いらっしゃいませー！ひもくじ
はこちらです！」と元気に練習していましたが、いざ
お客さんを目の前にすると緊張でカチンコチンに。
でも、慣れてくるとシールを貼ったり、ボーリングの
ピンを並べたりと大活躍でした！昨年度末に卒園した
お友だちもご招待。在園児も卒園児もお互いに再会
を喜びながら、お祭りを楽しんでいました。

練馬高野台 保育園



instagramは
こちらから

さつまいも掘りに行ってきたよ！

5歳児クラスのお友だちと、さつまいも掘りに
行ってきました！みんなで電車とバスに乗っての
お出かけはワクワクでいっぱい！少しドキドキしな
がらも交通ルールをしっかりと守って行くことが
できました！畑に到着し、いざ土を掘ってみると
「あれ？さつまいもないじゃん」と子どもたち。
さつまいもは土の奥深くにできていました！でて
きた大きなさつまいもに目がキラキラに輝き、
とっても嬉しそうにする笑顔がまばらかったです！



さつまいも
どこかな??



大きいおとも
掘れたよー！

保育所 びのびの



instagramは
こちらから

ぴのぴの運動会！

今年も9月に運動会を開催しました。子どもたちだけ
でなく、保護者の方も保育者も楽しめる競技が盛り
だくさんでした。準備体操の「できるかな？」では
「できるよできる〜」と2歳児さんは歌いながら
大きく体を動かしたおかげで、バイキンマンにアン
パンチできました！0・1歳児のお友だちも人参や
ボール、金魚などを運んでいましたよ！最後は全員
で玉入れに夢中になりあっという間の1時間！みん
なメダルよりきらきら笑顔になりました。



大きいのが
すくえたよ



カレーパンマンに
変身！

南柏保育園



instagramは
こちらから



園内コンサート始まるよ！

園内コンサート楽しかったよ

柏市出身で活躍されている「ばんがきんワゴン」さんを招いて園内コンサート
を開催しました。一緒に歌っても踊っても泣いても良いよ！がテーマで、子どもたち
と一緒に歌い踊り、気になる楽器やめいぐるみに
興味を示すとステージまで触りに来たりしてい
ました。3年連続ということもありオリジナル曲
の「ポテト」も覚えていて子どもたちも「ポ・テ
ポ・テ・ポテポテ〜」と口ずさんでいました。
短い時間でしたが歌って踊って楽しいホッコリ
時間でした。



トンボのメガネは〜♪

稲城園

海の世界で夏祭り



これにする！

今年は海の世界観の中で夏祭りを
楽しみました。子どもたちはその世
界観に喜びながら知っている生き物
を見つけると大盛り上がり！個々に
ゲームを楽しむだけでなく、2歳・4歳・
5歳児が作った物を販売し、玩具のお金でやり取りを行うお店屋さんごっこにも初めて
挑戦しました。当日は4歳・5歳児に店員さんをやらしてもらい「いらっしゃいませ〜！」とい
う声で活気を感じることができました！商品を買って来た1歳・2歳児も緊張せず自分で好き
な物を選び、買った物を大事そうに握りしめて笑顔で帰っていく姿が多く見られました！



海の世界へ
ようこそ！

みんなでがんばったうんどうかい



よいドン!の前の緊張の瞬間...

元気いっぱい運動会に参加した子どもたち。緊張や悔しさから涙を見せる場面もありましたが、それぞれ一生懸命に力を発揮して取り組む姿が素敵でした。応援うちわを手に「がんばれー」とお友だちを応援する姿も可愛らしかったです。ぱんだ組さんのソーラン節では真剣な表情で踊り、みんなの成長を感じるあたたかい時間となりました。これからも一人ひとりの頑張りや楽しさを大切に、成長を見守っていききたいと思います。



ソーラン節
がんばったよ!



みんなの前で
頑張って
踊りました!



頑張った後は
お神輿の前で
記念撮影!

つきよのポンチャラリン

10月に近くの神社でお祭りがあり、毎年「月夜のポンチャラリン」を舞台上で踊って参加しています。2歳児以上のお友だちから参加し、6月頃から日常的に踊り練習をしてきました。当日、ご家族は勿論、地域の方にも披露し、大きな舞台上でたくさんの人から注目を浴びることに緊張して泣いたりしてしまうお友だちもありますが、泣くのを我慢したりして一生懸命に踊って素敵な姿を見せてくれました。踊りが終わり、保護者に迎えられると安心したり、自信に満ちた顔になり成長した様子を感じます。

秋まつり

朝からお祭りの飾りを見つけて楽しみにしていた子どもたち!いつもと違う雰囲気や少し戸惑いや緊張する姿もありましたが、保護者の方と一緒に出し物に参加しゲームや制作を楽しむ姿が見られました。いつもはお友だちと食べているおやつを保護者の方と一緒に食べることができ、子どもたちの笑顔がとても印象的でした。季節の行事を通して心も身体も成長しました。また、保護者同士の微笑ましい交流の姿もあり、とてもよい機会となりました。



パパとママと
食べるおやつは
美味しいな♡



すいか割れるかな~!!

お月見

10月6日にお月見会を行いました。「お月見てなあに?」「秋に美味しい食べ物が実って感謝をする日だよ」「お月様が大きく見えるんだよ」「うさぎさんがお餅をつくんだよ」などなどお月見まつわりの話はいろいろ。9月の下旬より、お月様でお餅をつくうさぎを想像しながら制作を行いお部屋に飾りました。当日は食育と保育のコラボでお団子作りを行い、給食の先生からの作り方の説明に興味津々。5歳児は粉や水の計測から頑張りました。



ひやく
グラムだよー



秋の実りに感謝!



お団子できたよ



ピンキョ、ファイト!オー!



すいか割って
ドキドキするね

夏祭り楽しかったね。

夏祭りでは、子どもたちは甚兵衛を着て参加しました。その姿の可愛い事!お面、ヨーヨーすくい・魚釣り・もったいないばあさん音頭・シール貼り・すいか割り・盛りだくさんの内容でした。子どもたちと保育者が円陣を組んで行う「ピンキョ、ファイト!オー!」は、子どもたちの士気も上がります。すいか割りでは、最初に一人ずつ小玉すいかを抱えて、どっしりとした重さを感じてもらいます。すいか割れると拍手や歓声が上がり、大盛り上りの会となりました。

絵具で遊んじゃおう!

夏も終わり涼しくなってきた9月末、大胆に絵具遊びができるボディペインティングを園庭で行いました。まずは頭・手・足に絵の具をつけ、絵の具の感触を楽しむお友だち、次は絵の具を何色も混ぜ、完成したオリジナルカラーに「これは〇〇色だね!!」と名づけるなど、子どもたちの目はキラキラと輝いていました。新しくできた色でお友だちと塗り合ったり、洋服にも塗り、自分だけのデザインTシャツが出来上がっていました。



沢山塗っちゃおう



色水になった!

楽しかったね!親子クッキング



おいしく
できるかなー

食育の一環として、今年度は「親子クッキング」を開催しました。夏の風物詩「すいか割り」を体験して季節感を味わったり、その後は「フルーツポンチ作り」を親子で楽しみました。見事に割れた「すいか」やバナナなどの果物をスプーンですくったり、バナナの皮をむいてスプーンで細かくして器に入れる等、乳児(1・2歳児)ができる範囲で親子で一緒に行った経験は、子どもがバナナの皮をむける事に初めて気づいたり、苦手なフルーツも食べられたり色々発見があり、家で一緒に調理してみようかなと思った等の感想を聞くことができました。



見事!
2つに割れて
良かったね



本番も
楽しんで
います☆



1・2♪1・2♪

やる気10000%

幼児クラスになって初めての運動会。毎日のように行った練習も「今日もダンスやる!」と飽きることなく、時には「もっとやりた〜い」と言うほど楽しんで取り組んでくれました。本番は緊張する様子もなく、ママやパパたちの前で堂々と笑顔で踊る事が出来ました。これまでのどの練習よりもとっても上手に元気いっぱい踊りきったみんなは一回り成長したように感じます。運動会から1ヶ月たった今でも歌を口ずさみながら踊っている姿にとっても嬉しく思います!

Hello World

英語プログラム「遊ぼう」へようこそ!

「遊ぼう」では、英語で話したり遊んだりするだけでなく、
「Hello world」をテーマに、
様々な国の文化を体験し、楽しみながら世界を学ぶ事ができます。
今年は「食」をテーマに、
講師の母国である、フィリピンの文化を紹介しました。

Haluhalo

フィリピン料理は、実は多くの国々の影響を受けて発展して
来た事をご存じですか?
例えば人気スイーツ「ハロハロ」は、英語で「mix-mix」、
日本語では「混ぜ混ぜ」という意味で、日本の「かき氷」に
似たスイーツです。フィリピンではジャックフルーツやバナナ
などのトロピカルフルーツに、ゼリーやアイスクリーム、ミルク
をトッピングして食べます。
この日は、ゼリー、バナナ、みかん、わらび餅、そしてフロ
ズンヨーグルトを重ねて、「オリジナルハロハロ」作りに挑戦!
美味しく出来上がりました。



美味しくなあれ



Mabuhay!
こんにちは!



Pansit

また別の日は、「パンシット」と「シニガン」という料理も
楽しみました。
「パンシット」は、中国の影響を受けた野菜たっぷりの焼き
そばのような麺料理。本当は、カラマンシーというレモンや
ライムに似た果物をしぼり、酸っぱくするのが人気です。
その事を子どもたちに話すと、「えっすっぱいの?」ととても
驚いていました。



いただきまーす

Sinigang

そんな酸っぱい物が大人気のフィリピンでよく食べられる
のが「シニガン」というスープです。「タマリンド」という果物
を使った伝統料理で、酸っぱい味が特徴です。こちらは子ども
向けに優しい味付けにして提供。好きになった子もいれば、
少し驚いた子もいましたが、新しい味に興味を持ち、積極的
に体験してくれました。

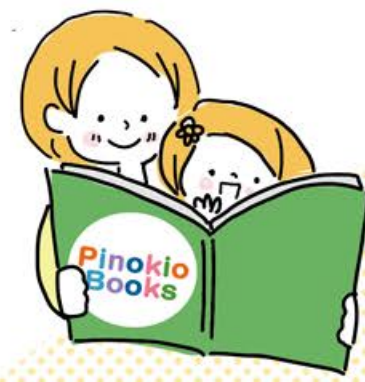


私たち講師には
初めての体験



流しそうめん

もちろん、日本の食文化も大切にしています。
夏の風物詩「流しそうめん」も体験。竹のレーンを通る
そうめんをキャッチする度に歓声が上がり、この伝統的な
食事は、私たち講師にとっても、日本文化を身近に感じる
素敵な機会となりました。
これからも引き続き、「遊ぼう」では様々な国や文化との出会い
を通して、子どもたちが「世界が楽しい」と感じられる体験を
沢山届けていきます。



ピノキオ文庫

ピノキオ幼児舎の子どもたちは絵本が大好き!
各園で人気の絵本をご紹介します!

ぐるぐるカレー

作:矢野アケミ 発行:アリス館



「ぐるぐるカレー」という絵本をご紹介します。
1ページめくる毎にカレーの材料を1つずつ鍋に入れて
いき、カレーを作っていく工程を楽しむ絵本です。
子どもたちは食材を鍋に入れる動作を楽しみながら野菜
や食べ物のお名前を学ぶことができます。
最も盛り上がるのは、タイトルにもある「ぐるぐる」の
所です。両手を回したり、首を振ったりと、子どもたちが
思い思いの「ぐるぐる」を見せてくれます♪
この絵本を題材にしてカレーを作る劇を発表会でやった
こともあり、とても楽しんで取り組んでいました。
また、同じシリーズで「ぐるぐるジュース」「ぐるぐるせん
たく」もあります。

ぜひ皆さんも「ぐるぐるカレー」を読み聞かせてみては
いかがでしょうか?
子どもたちと一緒にぐるぐるして楽しい時間になれば
嬉しいです♪
(ピノキオ幼児舎 上野毛園)



子育て ちゃつChatチャツ



ごっこ遊びが 教えてくれたこと

「みなさんごいっしょにいただきます!」

娘の「うたな」が、保育園ごっこをするときによく口にする言葉です。

「いただきます」の前には、「ぼーんぼーんぼーん」から始まる手遊び歌もつけて、元気いっぱい園での様子を再現してくれます。その姿を見ていると、日々の園生活がどれほど楽しく、娘にとって大切な時間になっているのを感じます。

ある日、「ママ先生!今日は園庭で遊びましょう!」と、娘が張り切ってリュックに水筒を入れ始めました。どうやら私と娘が「先生役」のようです。娘はリュックを背負い、「このリュックは重いから、先生が持っていくね」と得意げな顔。おままごとの延長のようでいて、現実味のあるやり取りに思わず笑ってしまいました。

しばらくすると、「こけちゃったね!」と、誰かが怪我をした設定に。娘は冷凍庫から保冷剤を取り出し、小さなタオルで包んで「大丈夫?冷やすね」と優しく声をかけます。園での先生たちの対応をそのまま再現しているようで、小さいながらも人の行動をよく観察しているのだなと、驚きと感動が入り混じる瞬間でした。

少し前まで、娘の遊びは料理を並べて「どうぞ」と食べるだけの、シンプルなおままごとでした。それが今では、誰かを思いやり、役割をもって行動する「ごっこ遊び」へと変わっています。

3歳くらいの子どもの誰かのまねをするのは、「その人に安心感を抱き、尊敬しているから」だそうです。そう聞くと、娘にとって先生方がまさにそんな存在なのだと感じ、日々あたたかく関わってくださっていることに、改めて感謝の気持ちがわいてきます。

一方で、仕事をしている自分には、同じようにじっくり向き合う時間を持つことが難しく、娘と過ごすひとときの尊さをあらためて思います。

それでも、こうして娘が保育園での温かい時間を家でも再現し、成長していく姿を見ることができると、親として幸せなことだと感じています。

これからも娘は成長とともにさまざまな壁にぶつかるでしょう。そのたびに私も悩み、学びながら、保育園の先生方と一緒に娘の歩みを支えていきたいと思っています。日々の小さな遊びや言葉が、親子の絆を深めてくれる大切な時間だと感じています。

芦花保育園にうたなちゃん(3歳)をお預けいただいている保護者様です。

ピノキオ幼児舎 HARUMI保育園

2026年4月開園

「ピノキオ幼児舎 月島園」は、
2026年4月より認可保育所へ移行し、
「ピノキオ幼児舎 HARUMI保育園」として新たにスタートします。
これまでのご支援に心より感謝申し上げます。
これからも子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切に、
一人ひとりがのびのびと過ごせる保育を目指してまいります。
晴海エリアは、運河や海に囲まれた美しいロケーション。
園内に一歩足を踏み入ると、「ハルミの森」にいたような
木のぬくもりと緑に包まれた空間が広がります。
子どもも大人も心地よく過ごせる場所を目指しています。
これから出会う皆さまとの新しい物語を、
心より楽しみにしています。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



エントランスから見た保育園



保育園内

義援金のご協力をお願い

震災で今もなお不自由な生活を余儀なくされている様子を
ニュースなどで目にするたびに、
同じ子育てをする者として胸が締めつけられる思いです。
ピノキオ幼児舎でも、子どもたちと
「困っている人を助けるって、どんなことだろうね」と話す中で、
少しでも気持ちを形にしたいと考え、
各園で義援金の募集を行います。

今年度も、
宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」に加えて、
能登半島地震がありました石川県の
「日本赤十字社石川県支部及び石川県共同募金会」を
寄贈先といたします。

無理のない範囲で構いません。
皆さま一人ひとりの思いが、被災された方々の支えになります。
子どもたちとともに「思いやりの心」を育む機会として、
あたたかいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ピノキオ幼児舎のおもしろ日記

「どんどんひろがる」の巻

げんあん/桃井保育園
え/おかのさとし

午前中、ピノ坊とピコちゃんが



食材でジュースを作っていました。

午後の自由あそびの時間では...



みんながジュース作りをはじめました!



ドリンクバーも登場!



ジュースからパーティー、おままごと
あそびはどんどんひろがります。

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は各園の保育に、ご理解ご協力を頂き誠にありがとうございました。

子どもたちの笑顔に包まれながら、無事に新しい年を迎えられた事を嬉しく思います。

本年度も残り3ヶ月、

子どもたちの一人ひとりが健やかに、のびやかに成長していけるよう

職員一同心を込めて保育に努めて参ります。

引き続き保護者の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社 ピノコーポレーション
代表取締役社長 谷井 さとみ



「ピノキオ通信」で紹介して欲しい事、
ご意見、ご相談などがございましたら、
各園、または、下記のアドレスまで
お気軽にお寄せください。

e-mail info@pinoh.co.jp

ピノキオ通信 第85号 2026.1.6発行

〈発行元〉(株)ピノコーポレーション
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-26-16
ビクトリアプラザ高円寺3階
TEL.03-3317-5113 FAX.03-3317-5081

URL www.pinoh.co.jp

instagramでは
各園アカウントで園の様子や
イベント情報など発信中！



PINOH_CO

ピノコーポレーション
instagram公式アカウント